

令和3年度使用教科用図書 第2回高砂採択地区選定委員会（美術科） 議事録

令和2年7月28日（火）

加古川市人権文化センター

発言者	内容
司会（会長）	美術の教科用図書について審議する。 開隆堂についていかがか。
委員	どれもカラフルでよかった。従前と比べるとよくなっている。調査報告にもあるように2・3年生の情報量が多い気がした。
委員	他の教科との横断的な部分があるのでよい。
委員	3年の教科書が資料集のようになっている。いろんな項目や作品が掲載されているが、作り方などの説明が少ない。
委員	生徒の作品を載せて、そのコメントを書いているところは面白い。子供たちもこれを見てやる気になるはずである。「ゴッホの自画像」ではゴッホの人生について考えさせられるよい内容である。資料集に近い気がした。
司会（会長）	光村図書についていかがか。
委員	光村図書は、国語や道徳につながりがあるように感じた。総合学習でも使えるように配慮している。
委員	表現・鑑賞の2観点だけではなく主体的な学びにつながる内容が掲載されて良い。
委員	教科書らしいと思うが、説明がやや過多であるのに驚かされた。粘土や色の作り方の説明は面白い。
委員	作品の制作の順序がわかりやすく書かれており、昔の指導方法との違いを思い起こした。風神雷神の作者が2人おり、原作と模写作品があるのに驚かされた。模写作品が国宝になっているのも分かった。ピカソのゲルニカが道徳とのつながりを感じた。
司会（会長）	日本文教出版についていかがか。
委員	表紙、見開きから美術の教科書という感じがした。フェルメール、横山大観など美術として代表的な作品が大きく掲載されていた。
委員	「あなたらしく見つめて」の部分は、すごくわかりやすく良かった。「作者の気持ちを考えよう」でも詳しく説明しており、良かった。
委員	3冊になっているので詳しくなっている。何よりも何をさせたいのか、教えたいのかがわかりやすい。2・3年下では、身近な作品についても説明されており、よい。3冊の強みである。

委員	3分冊になっているため、量が豊富である。しかし、最後までしっかりと学習させられるか心配である。ジャポニズムについても書かれていたのが興味深い。
司会（会長）	<p>総括をする。</p> <p>美術の教科用図書は、日本文教出版を第一に、光村図書を第二として推薦する。</p>